

原著

認知症グループホームにおけるグループホームケアの効果研究

Study of the effect of group home care in group home
for people with dementia.

山口晴保¹、林邦彦²、安藤高夫³、井上謙一⁴、佐々木薫⁵、関本紀美子⁶、
繁澤正彦⁷、林田貴久⁸、宮崎直人⁹、古川和良¹⁰、今野亜希子¹⁰、
保坂孝信¹¹、前田克実¹¹、認知症グループホームにおける
グループホームケアの効果・評価に関する調査研究事業検討委員会¹²

Haruyasu Yamaguchi¹, Kunihiro Hayashi², Takao Ando³, Ken-ichi Inoue⁴,
Kaoru Sasaki⁵, Kimiko Sekimoto⁶, Masahiko Shigezawa⁷, Takahisa Hayashida⁸,
Naoto Miyazaki⁹, Kazuyoshi Furukawa¹⁰, Akiko Konno¹⁰, Takanobu Hosaka¹¹,
Katsumi Maeda¹¹, Study Committee of the Effect of Group Home Care on Dementia¹²

要旨

目的：認知症グループホームケアの有効性を定量的評価に基づいて示すこと。

方法：全国の認知症グループホームに協力を依頼し、既存入居群（3か月以上入居）484名では入居時と3か月後の2時点で、新規入居群では入居時、1か月後、3か月後および可能であれば入居前の4時点で調査を行った。ケアの効果指標にはBPSDの指標としてNPI-NHとその職業的負担度（NPI-D）、QOLの指標にはshort QOL-Dを用い、統計学的に分析した。

結果：1) 入居時と3か月後を比較すると、既存入居群484名は、NPI-NHがわずかな有意の改善を示し、職業的負担度とshort QOL-Dは有意な変化を示さなかった。一方、新規入居群71名は、いずれの指標も有意に改善した。新規入居群の変化は、既存入居群の変化と比べたとき、BPSDが改善傾向、

キーワード：認知症グループホーム、BPSD、QOL、全国調査、ケア効果

1 認知症介護研究・研修東京センター

〒168-0071 東京都杉並区高井戸西 1-12-1

2 群馬大学大学院保健学研究科

〒371-8514 前橋市昭和町 3-39-22

3 医療法人社団永生会

〒193-0942 東京都八王子市桐田町 583-15

4 認定NPO 法人じゃんけんぽん

〒370-3521 群馬県高崎市棟高町 954-8

5 社会福祉法人仙台市社会事業協会

〒981-0917 宮城県仙台市青葉区葉山町 8-1

6 公益社団法人認知症の人と家族の会東京都支部

〒160-0003 新宿区四谷本塩町 4-41

7 有限会社耕グループ

〒509-7506 岐阜県恵那市上矢作町 2976-6

8 社会福祉法人恵仁会

〒893-0024 鹿屋市下蔵川町 1800

9 有限会社グッドライフ

〒052-0014 北海道伊達市舟岡町 337-1

10 エム・アール・アイリサーチアソシエイツ株式会社

〒100-6105 東京都千代田区永田町 2-11-1

11 株式会社三菱総合研究所

〒100-8141 東京都千代田区永田町 2-10-3

12 公益社団法人日本認知症グループホーム協会

〒160-0015 東京都新宿区大京町 23-3

責任著者：山口晴保

認知症介護研究・研修東京センター

〒168-0071 東京都杉並区高井戸西 1 丁目 12-1

TEL : 03-3334-2173 FAX : 03-3334-2718

E-mail : yamaguti@gunma-u.ac.jp

受領日：2018年8月3日

再受領日：2018年9月5日

採択日：2018年9月5日

英文誌名：Tokyo Journal of Dementia Care Research

NPI-Dによる職業的負担度とQOLが有意な改善(交互作用)を示した。2) 新規入居群で入居前評価と入居時・1か月後のデータが揃った68名では、いずれの指標も有意な改善を示し、既存入居群の値に近づいた。3) 入居時と1か月後が揃った新規入居群114名では、3指標とも有意な改善を示した。抗精神病薬が新規入居から1か月後の時点で投与されていた20名と非投与94名を比較すると、非投与群でのみ有意な改善が示された。3指標の改善効果は抗精神病薬投与群と非投与群で有意な交互作用がなかった。

結論：認知症グループホームケアにより、入居から3か月後にはBPSDが安定してQOLが高まり、既存入居群と変わらないレベルになることを示した。さらに、この効果は抗精神病薬投与によるものではないと示唆された。

はじめに

認知症グループホームは2000年に制度化された。その基準省令の中からキーワードを抽出すると、第89条「家庭的な環境、地域住民との交流、利用者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営む」、第93条6「利用者の家族との交流の機会の確保や地域住民との交流」、第97条「利用者の心身の状況を踏まえ、人格を尊重し、家庭的な環境、漫然かつ画一的なものとならないケア」、第99条「自立の支援と日常生活の充実、食事その他の家事等は、原則として利用者と共同で行う」、第100条「利用者の趣味又は嗜好に応じた活動の支援」などが挙げられている。

このように、認知症グループホームは、地域における少人数の認知症の人と職員との共同生活の中で、職員と入居者の「なじみの関係」を重視して、一人ひとりの個性と生活のリズムを尊重した個別ケアを提供している。とくに、日常生活の中で入居者の力を活用できる場面や認知症の人同士の支え合いの中から生まれてくる力に着目することを大切にしている。また、地域住民との交流も大切にしている。本論文では、認知症グループホームで行われているこのようなケアを「グループホームケア」と位置づけ、このグループホームケアが認知症の人の生活の質(quality of life; QOL)の向上や認知症の行動・心理症状(behavioral and psychological symptoms of dementia; BPSD)の改善に効果があることを定量的数値データとして示すことを目標として本研究に取り組んだ。

今後、認知症の人が増加する中で、各介護保険

サービスには認知症への対応力を向上することが求められており、認知症に特化したサービスである認知症グループホームにおいては、地域包括ケアシステムの中で期待されている役割・機能を着実に発揮していくことが特に重要となってきている。また、1万3千事業所を超える認知症グループホーム事業所においては、サービスの質のばらつきも指摘されているところであり、ケアの効果についての客観的な検証を行い、より効果的なグループホームケアを提供していくことが求められている。

一方で、そうしたグループホームケアの効果については客観的に評価することが難しく、これまでにそうした効果を「客観化」する取り組みは十分になされてきていないのが現状である。全国レベルの大規模調査により、そうした効果を「客観化」し、その有効性について検討することは大変意義のあることと考える。そこで、平成29年度厚生労働省老人保健健康増進等事業の「認知症グループホームにおけるグループホームケアの効果・評価に関する調査研究事業」においては、認知症グループホーム利用者のQOLやBPSD¹⁾の状況に着目し、「グループホームケアの効果・評価」に関する調査を実施して、グループホームが認知症の人のQOLの向上やBPSDの改善にどの程度寄与するのかを検討した²⁾。

本論文は、その研究結果をさらに追加分析し、原著論文としてまとめたものである。

対象と方法

全国の認知症グループホームの入居者を対象とした。公益社団法人日本認知症グループホーム協

会ならびに全国グループホーム団体連合会に属する全事業所に、事前に調査の概要をFAXで送信し、本調査研究への参加の意思を表明した事業所に調査の解説と評価用紙のセットを郵送した。入居後3か月以上経過した者を既存入居群と定義し、既存入居群1,000名を目標としたところ、111事業者1,638名(1ユニットの40事業所360名と2ユニットの71事業所1,278名)の参加了承があった。新規入居者は目標400名で、随時参加を募った。

調査の実施時期は、既存入居群は、2017年9月1日時点での入居者とし、初回と3か月後の2時点で調査した。新規入居群は、2017年8月から11月までに入居した者とし、入居時、1か月後、3か月後(ただしエントリーが遅い場合は3か月後を未評価)の3時点での評価とし、可能であれば入居前評価(入居前4週間のうちの1週間を評価)も得た。基本的には入居者の評価を介護を担当する職員が行った。

調査は、事業所の情報を得るための調査票(調査票A:今回は分析対象に含めていない)と、年齢、性別、入居期間、診断、投薬、実施されているケアなど入居者の個別の情報を得るための調査票(調査票B;補足資料として論文の末尾に掲載)、入居者のアウトカム指標を得るための調査票(調査票C)として、C-1:Neuropsychiatric Inventory-Nursing Home(NPI-NH)日本語版^{3,4)}とC-2:認知症高齢者のQOL評価票(quality of life-dementia)短縮版(short QOL-D)⁵⁾とした。NPIは妄想・幻覚・興奮・うつ症状・不安・多幸・無関心・脱抑制・易刺激性・異常行動・夜間行動・食行動の12項目から成るBPSDの標準的な評価尺度で、主に医療機関で使われており、今

回は慢性期医療・介護施設向けのnursing home版(NPI-NH)を用いた。NPIとNPI-NHは、項目は同じであるが、各項目の設問が少し異なり、例えばNPIでは「患者さんは……」で始まる設問が、NPI-NHでは「入所者さんは……」となっている。下位項目も、妄想であればNPIは9項目であるがNPI-NHは6項目であるなど、細部では異なっている。各項目は重症度と頻度をかけ合わせて(0~12点で評価され、夜間行動と食行動を除く10項目の合計点は0~120点となる。NPI-NHは職業的負担度(distress)も同時に測定でき、NPI-D得点と表記した。NPI-Dは各項目0~5点で、10項目の合計点0~50点となる。NPI-NHとNPI-Dは、各事業所の管理者が介護担当者に質問する形で記入した。寺田らが開発したshort QOL-Dは、オリジナルのQOL-D⁶⁾31項目を9項目に短縮したもので、陽性点(6項目で6~24点)・陰性点(3項目で3~12点)・合計点(9~36点)で構成される。陽性点は「楽しそうである」「食事を楽しんでいる」「訪問者に対して嬉しそうにする」「周りの人が活動するのを見て楽しんでいる」「自分から人に話しかける」「仕事やレク活動について話をする」の6項目、陰性点は、「怒りっぽい」「ものを乱暴に扱う」「大声で叫んだりする」の3項目の状態から算出する。Short QOL-Dは本来過去1か月の状態で評価するが、本研究では開発者の寺田整司医師の了解を得て過去1週間の状態を評価する版として改変したものをを用いた。なお、short QOL-Dは、岡山大学精神神経病態学教室のホームページでWeb公開されている。

新規入居者の入居前評価では、入居前の情報を得るための調査票(調査票D;内容はB票に近い)を用いた。

表1 調査対象者別時期別実施した調査票の一覧

調査票	既存入居群		新規入居群			
	①初回	②3か月	①入居前*	②入居時	③1か月	④3か月
A:事業所の基本情報	○			○		
B:入居者の情報	○	○		○	○	○
C-1:NPI-NH	○	○	○	○	○	○
C-2:short QOL-D	○	○	○	○	○	○
D:入居前の情報			○			

*新規入居群の入居前調査は、入居前4週間のうちの1週間の状態を評価

C-1票については原則、各時点における対象利用者の1週間の状態に基づいて、介護職員が管理者からの問いかけに答える形で回答された。

既存入居者と新規入居者別の実施時期別の調査票の種類を整理すると、表1のとおりである。

除外基準

BPSDを観察することが難しいと思われる入居者(寝たきりや意識障害のある方)として、要介護4および5は、調査対象から除外することとした。そして、「障害高齢者の日常生活自立度においてランクBもしくはCの入居者」については注意事項で除くように依頼した。調査期間中に1か月以上の入院があった者は分析から除いた。NPI-NHとshort QOL-Dに欠損値がある者は分析対象から除いた。

調査票の回収

調査票の回収状況は、既存入居群は111事業所(1,638件分)に調査票を配布し、初回は654件を回収し回収率39.9%、3か月後の2回目調査は605件を回収し、回収率36.9%(ただし初回調査に応じた654件の92.5%)であった。新規入居群は、157事業所(195件分)から参加申し込みがあり、入居前調査106件で回収率54.4%(入居時調査に応じた123件の86.2%)、入居時調査123件で回収率63.1%、1か月後調査121件で回収率62.1%(同98.4%)、3か月後調査74件で回収率37.9%(同60.2%)であった。

倫理的配慮

本調査研究計画は、公益社団法人日本認知症グループホーム協会にて設置された倫理委員会の審査を受け、承認を得て実施された。調査対象者とその家族には、入居事業所から調査を説明の上で

協力を依頼し、書面にて同意を得た。調査票は、氏名と事業所名をIDで管理し、匿名化した上で提供を受けた。

分析

統計学的解析はSPSS Ver.25 (IBM)を用い、p値両側5%を有意水準とした。

結果

分析1：初回/入居時評価と3か月後評価の比較

既存入居群(3か月以上入居継続)は、3か月後の2回目調査では605件の回答を得たが、調査票の記入漏れ例や除外基準該当例などを除き、484名を対象とした。この群は年齢 87.0 ± 6.6 歳(2名不詳；調査票では年齢ではなく出生年を調査したため ± 1 年の誤差がある)で、男女比(2名不詳)は、男性95名(18.7%)、女性387名(80.3%)と女性は男性の約4倍だった。入居期間は 38.6 ± 32.0 月と、平均約3年だった。

この既存入居群の初回と3か月後の2時点のBPSDとQOLの評価結果を表2に示す。BPSDの指標であるNPI-NHの得点(夜間行動と食行動を除く10項目の合計点)の平均 \pm 標準偏差(以下同じ)は 10.6 ± 12.9 点から3か月後に 9.75 ± 12.6 点と、わずかだが有意に低下した($p=0.011$)。職業的負担度を示すNPI-D(10項目の合計点)は約4.5点で、3か月間で有意な変化を認めなかった。一方、QOL(short QOL-D)は合計が 28.4 ± 5.1 点から 27.9 ± 5.1 点に0.5点低下したが、統計学的有意差は認めなかった。

新規入居群で入居時評価と3か月後が揃っているのは71名で、年齢 82.80 ± 8.26 歳(3名不詳)で、男女比は、男性12名(16.9%)、女性59名(83.1%)と女性は男性の約5倍だった。

表2 既存入居群484名の評価結果と前後比較 (対応のあるt検定；NSは有意差なし)

評価項目	初回	3か月後	p値
NPI-NH (BPSD)	10.56 ± 12.90	9.75 ± 12.62	$p=0.011$
NPI-D (職業的負担度)	4.46 ± 5.54	4.50 ± 5.87	NS
short QOL-D 合計点	28.37 ± 5.08	27.85 ± 5.13	NS
陽性点	18.03 ± 4.60	17.71 ± 4.65	NS
陰性点	10.34 ± 2.03	10.13 ± 2.25	$p=0.023$

表3 新規入居群71名の評価結果と前後比較 (対応のあるt検定)

評価項目	入居時	3か月後	p値
NPI-NH (BPSD)	13.03±13.61	9.72±10.18	p=0.044
NPI-D (職業的負担度)	6.24±6.26	4.68±5.37	p=0.042
short QOL-D 合計点	27.34±5.48	29.10±4.72	p=0.004
陽性点	18.03±4.60	18.48±4.60	p=0.002
陰性点	10.45±2.33	10.62±1.74	NS

新規入居群の71名では、表3に示すように、BPSD (NPI-NH) が入居3か月後に有意に低減し ($p=0.044$)、同時に職業的負担度を示すNPI-Dも有意に低減した ($p=0.042$)。そして、QOLが有意に向上した ($p=0.004$)。

つぎに、既存入居群(484人)を対照群とみなし、新規入居群(71名)との間で交互作用を反復測定分散分析で統計学的に検討した。その結果、NPI-NHの交互作用は $F(1,553)=3.566$ 、

$p=0.059$ と統計学的有意差(0.05)にはわずかに届かなかった。職業的負担度(NPI-D)の交互作用は $F(1,553)=8.010$, $p=0.005$ と有意だった。QOL (short QOL-D)の交互作用は $F(1,553)=19.241$, $p<0.001$ と有意な交互作用がみられた。以上、新規入居群の変化は、既存入居群の変化と比べたとき、BPSDが改善傾向、職業的負担度とQOLが有意な改善(交互作用)を示した。この結果を図1に示した。

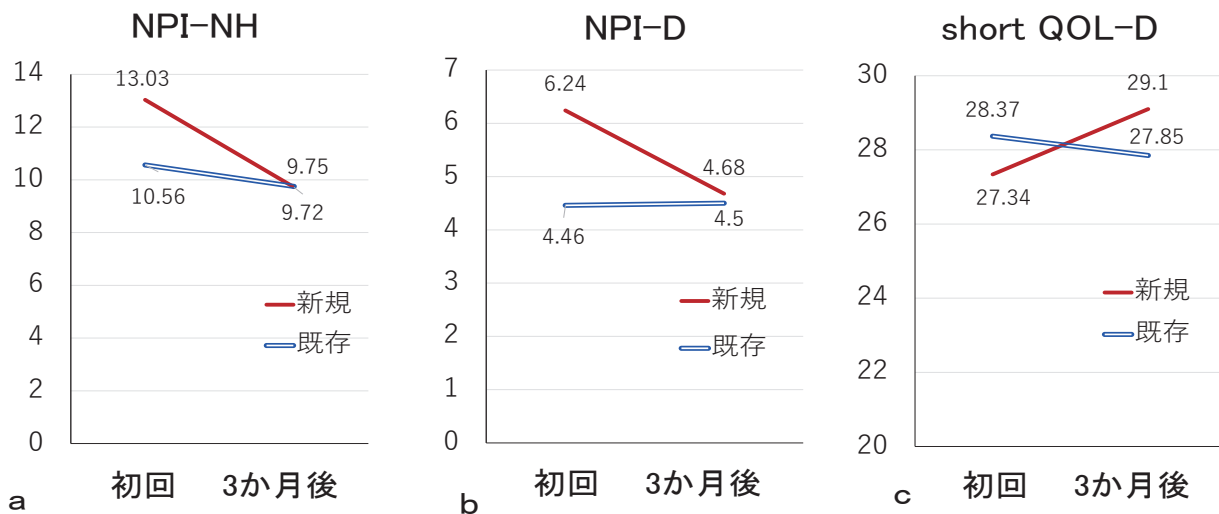


図1 効果指標平均値の新規入居群(71名)と既存入居群(484名)の変化の比較

a : NPI-NH、b : NPI-D、c : short QOL-D

表4 新規入居群68名の入居前・入居時・1か月後の経時変化 (反復測定分散分析)

評価項目	入居前	入居時	1か月後	F値 p値	時点間比較 (p値)		
					前- 入居	入居- 1か月	前- 1か月
NPI-NH (BPSD)	17.22±16.71	14.10±15.36	12.16±15.55	F=5.233 p=0.01	p=0.065	NS	p=0.007
NPI-D (職業的負担度)	7.53±7.01	6.19±6.67	5.16±6.64	F=6.342 p=0.004	NS	NS	p=0.003
short QOL-D 合計点	25.16±5.95	27.26±5.83	28.94±5.08	F=17.91 p<0.001	p<0.001	0.002	p<0.001

分析2 : 入居前、入居時、2回(1か月後)が揃った新規入居群68名

入居時と1か月に加えて、入居前調査も可能であった68名(83.5 ± 8.1歳;男性13名、女性55名)について、反復測定分散分析で検討した。その結果、BPSDは入居前の17.2 ± 16.7点から、入居時14.1 ± 15.4点、1か月後12.2 ± 15.6点と有意

に低減した。職業的負担度も入居前の7.53 ± 7.01点から入居時6.19 ± 6.67点、1か月後5.16 ± 6.64点と有意に低減した(表4)。QOLは入居前25.2 ± 6.0点から入居時27.3 ± 5.8点、1か月後28.9 ± 5.1点と経時的に向上し、既存入居群の点数を超えた。

表5 新規入居群114名の入居時と1か月後評価の比較(対応のあるt検定)

評価項目	入居時	1か月後	p値
NPI-NH (BPSD)	13.11±14.81	10.58±13.92	p=0.012
NPI-D (職業的負担度)	6.10±6.55	4.82±6.12	p=0.002
short QOL-D 合計点	27.53±5.43	28.88±5.11	p=0.001
陽性点	17.18±4.42	18.34±4.14	p<0.001
陰性点	10.34±2.39	10.54±2.02	NS

表6 新規入居群での抗精神病薬投与(+)群と非投与(-)群の対比 (反復測定分散分析)

評価項目	群	人数	入居時	1か月後	入居-1か月群内のp値	交互作用F値とp値
NPI-NH (BPSD)	-	94	13.05±15.01	10.38±13.28	p=0.016	F=0.099
	+	20	13.35±14.23	11.50±16.98	NS	NS
NPI-D (職業的負担度)	-	94	6.02±6.44	4.74±5.72	p=0.005	F=0.001
	+	20	6.45±7.24	5.15±7.92	NS	NS
short QOL-D 合計点	-	94	27.62±5.29	28.94±5.14	p=0.002	F=0.032
	+	20	27.10±6.17	28.60±5.01	NS	NS

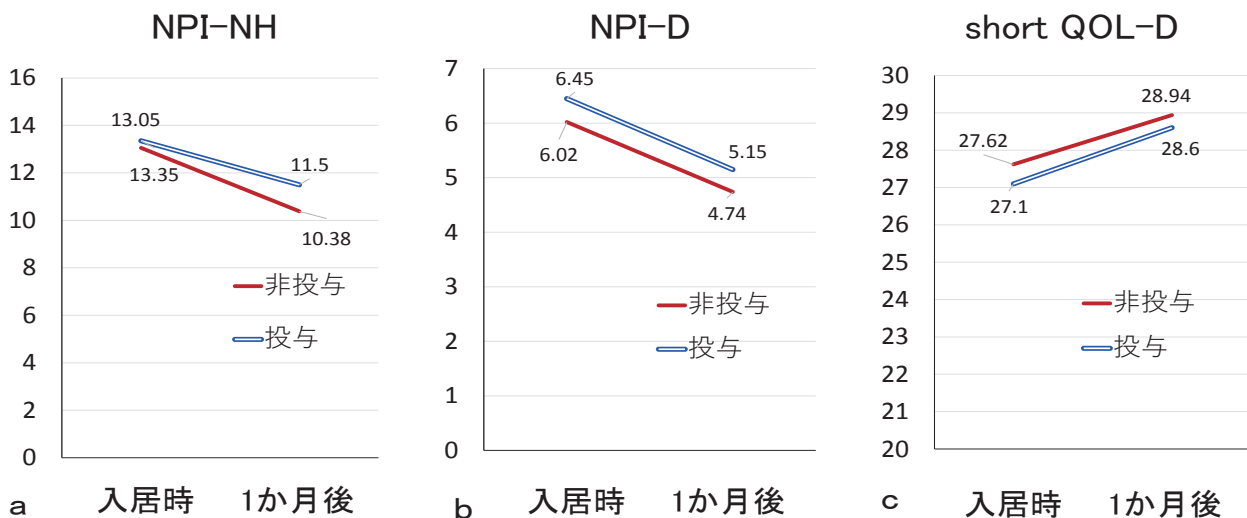


図2 効果指標平均値の抗精神病薬投与群(20名)と非投与群(94名)での変化 (新規入居114名)

a : NPI-NH、b : NPI-D、c : short QOL-D

分析3 : 入居時と1か月後に評価した新規入居群 114名

新規入居群114名の年齢は83.5±7.9歳(7名不詳)で、性別は男性23名、女性90名(1名不詳)だった。表5に示すように、入居から1か月後には、NPI-NH、NPI-D、short QOLのすべてが有意に改善した。

この群はn数が多いので、抗精神病薬使用の有無による群分けでさらに分析した。抗精神病薬は新規入居群の入居時は114名中の18名(15.8%)に投与されていた。1か月後には、この18名は継続投与で、新規に2名増えて合計20名(17.4%)となっていた。よって、この20名を抗精神病薬投与群、残り94名を抗精神病薬非投与群として、反復測定分散分析で検討した(表6)。すると、NPI、NPI-D、short QOL-Dのいずれの指標も、抗精神病薬非投与群のみで有意な改善がみられたが、交互作用はいずれも有意でなかった。抗精神病薬投与群と非投与群における各指標の平均値の推移を図2に示したが、いずれの指標も両群でほぼ同様な改善であった。

入所後に抗精神病薬が投与開始となった2例を除く投与群18名と非投与群94名とで同様の検討を行ったところ、NPI-NHとQOL-Dは上記と同様な結果で非投与群のみが有意に改善したが、NPI-Dは投与群も有意な改善(p=0.047)となり両群で有意に改善した。いずれの指標も交互作用が有意でなかった点は上記と同様であった。

考察

分析1では、既存入居者群は3か月後にBPSD(NPI-NH)が若干低減し、BPSDによる職業的負担度(NPI-D)とQOLは有意な変化がなく安定していた。一方、新規入居群は、入居から3か月後にはBPSDが有意に改善して、既存入居群に近づいた。同時にQOLも有意に改善し、既存入居群の得点を上回った。既存入居群を対照群とみなして3か月間の変化をみたときは、QOLと職業的負担度は統計学的有意差をもって新規入居群で改善し、BPSDもそれに近い成果を示せた。

分析2では、入居前の情報も集め、入居直後から改善傾向が見られ、1か月後、3か月後と経時的にBPSD低減とQOL向上が見られた。入居直後にはリロケーションダメージが想定されたが、今回の結果ではそのような傾向は見られなかった。

分析3では、新規入居群で多くの事例を集めることができた入居時と1か月後で3指標とも有意な改善が見られることを示した。さらに、抗精神病薬投与の有無で2群分けして分析し、非投与群で3指標とも有意に改善し、2群間に交互作用がみられずほぼ同等の改善を示した。このことから、新規入居群での3指標の改善が抗精神病薬投与による効果ではないことが示唆された。

認知症グループホームでの改善が抗精神病薬投与によるものでないことが示唆されたことは大変意義深い。しかし、抗精神病薬の投与群と非投与群の新規入居時NPI-NH平均点がともに13点台で有意差がなく、BPSDが重度だから抗精神病薬が使われているという実態ではなかった。今回、新規入居者114名で入居時に18名・15.8%、入居1か月後では20名・17.4%に抗精神病薬が使われており、良いケアで状態が落ち着いてきているにもかかわらず、抗精神病薬の投与中止例はなかった。ただし、受診間隔が数か月と長いために、調査期間中には処方変更が行われなかった可能性がある。参考までに、既存入居群484名では84名(17.4%)に抗精神病薬が投与されていた。今後、今回得られたデータをさらに分析し、抗精神病薬削減に役立つ要因を示すとともに、認知症グループホームにおける抗精神病薬の使用低減を目指したい。

今回の調査研究でBPSDの評価指標として用いたNPI-NHの点数は、既存入居群は約10点で、新規入居群も入居から1か月で平均11点、3か月後には10点と改善した。これは、鈴木ら⁷⁾の報告にある介護老人福祉施設の入所者200名でNPI-NHが平均10.14点、介護療養型医療施設の91名では平均9.37点、介護老人保健施設の226名では平均9.24点(数値は各項目の値から筆者が集計)と類似の数値である。佐藤ら⁸⁾は、単科の精神科病院での入院患者117名を対象にした研究で、NPI-NHが入院時は平均27.4±22.7点、入院5週後では15.7±14.9点、退院許可時点では9.1±9.7点であったと報告している。著者の一

人である山口の関与する認知症疾患医療センターもの忘れ外来では、NPI-NHと類似するNPIの得点が、認知症群163名では22.7±22.8点であった⁹⁾。以上より、今回示した認知症グループホーム入居者のNPI-NHが平均10点程度であることは、ほかの介護施設での点数や精神科病院退院基準点と比べて妥当な数値といえよう。

Short QOL-D⁵⁾は、もとなるQOL-D⁶⁾から新しく作られた尺度のため、この指標を使った論文は医学中央雑誌検索でも見つけられなかった(2018年7月時点)。そこで開発者の寺田整史医師より未発表データを得た。それによると、精神科病院の認知症病棟入院患者を主体とする260名あまり(2/3が重度認知症、残り1/3が中等度認知症；平均年齢81.5歳)で、short QOL-Dの平均が22.9点で、大学病院のもの忘れ外来患者395名では28.0点だったという。今回認知症グループホームの入居者で得られた27~30点は良好な数値であると推測するが、今後ほかの種別の介護施設での検討が必要である。Short QOL-Dは9項目で簡便な客観的QOL尺度であり、介護施設等での普及が待たれる。

今回の成果はどのようなケアで生み出されたのかを分析しようと、調査票Bには実施したケアを16項目で質問したが、たとえば「入居者が笑顔になるような楽しい雰囲気でのケア」や「入居者が安心するようなコミュニケーション」は9割以上の事例で実施されており、このようなケアの有無により効果を分析することが難しかった。事業所への基礎調査事項(調査票A)でも、「画一的なケアではなく、本人の意思やニーズ、状態に応じたケアを行っている」の項目の実施率97.0%、「自立支援の観点から、できることは自ら行ってもらうなど、能力を保持するケアを行っている」実施率97.0%、「入居者一人ひとりの個性や価値観、生活リズムを尊重し、これまでの生活スタイルを継続できる様にしている」実施率94.5%、「職員と入居者のコミュニケーションを重視したケアを行っている」実施率94.5%と、大部分の事業所で良質なケアが行われていることが判明した。また、「地域行事への参加」は実施率95.2%など、多くの事業所が地域と連携していた。

今回の研究の限界を述べる。本調査研究は年度

単位の厚生労働省老人保健健康増進等事業として実施されたため、2017年6月に採択され2018年3月末の報告書までにできる範囲で症例を集めたが、新規入居例を3か月まで追跡できたのが71名にとどまった。また、多くの認知症グループホームが研究に協力していただいたが、NPI-NHやshort QOL-Dといった評価票を用いた定量的な調査に不慣れな事業所が多く、貴重な症例について評価結果を送付していただいたにもかかわらず、記入漏れや誤記等で使用できないデータが多かった(たとえば既存入居群は605名分の返信があったが、分析対象は484名・80%にとどまった)。今後は、記入要領を充実させ、提出前に記入漏れのチェックを徹底するように配慮したい。

今回用いたBPSDの評価尺度はNPI-NHで、12項目からなるが、BPSDは多様であり、NPI-NHではその一部しか評価できない^{1,10)}。多様なBPSDを適切にとらえ、BPSDだからこそ、その背景要因を分析してBPSDをよくする努力が必要と考える¹⁰⁾。また、BPSDの予防に努めることも極めて重要である¹⁰⁾。

抗精神病薬については、投与の有無のみを調査し、薬剤の種類や投与量、受診間隔などを調査しなかった。今後の機会に、これらを調査したい。

今回の研究に協力していただいた全国の認知症グループホームのケアスタッフの方々には、今回の経験を活かして、BPSDやQOLを客観的に捉えて認知症グループホームケアをより高めていただきたいと考える。

COI：本調査が行われた時点において、佐々木薫は公益社団法人日本認知症グループホーム協会の副会長を務め、繁澤正彦は同常務理事を務めていた。宮崎直人は全国グループホーム団体連合会の代表を務めていた。

謝辞：今回の調査にご協力いただいた全国の認知症グループホームのご利用者・ご家族・スタッフの方々に深謝します。QOLの評価尺度short QOL-Dの使用許諾とデータ提供をいただきました岡山大学大学院精神神経病態学教室寺田整史先生に感謝します。また、調査に関する事務を担当していただきました公益社団法人日本認知症グ

グループホーム協会事務局の堀正勝氏ほかの方々に感謝します。

文献

- 1) Finkel SI, Costa e Silva J, Cohen G, et al: Behavioral and psychological signs and symptoms of dementia: a consensus statement on current knowledge and implications for research and treatment. *Int Psychogeriatr* 8 Suppl 3:497-500, 1996.
- 2) 公益社団法人日本認知症グループホーム協会 : 認知症グループホームにおけるグループホームケアの効果・評価に関する調査研究事業報告書. 平成29年度老人保健事業推進費等補助金「老人保健健康増進等事業」、2018.
- 3) Cummings JL, Mega M, Gray K, et al: The Neuropsychiatric Inventory: comprehensive assessment of psychopathology in dementia. *Neurology* 44(12): 2308-2314, 1994.
- 4) 博野信次, 森悦朗, 池尻義隆, 他 : 日本語版 Neuropsychiatric Inventory 痴呆の精神症状評価法の有用性の検討. *脳と神経* 49(3): 266-271, 1997.
- 5) Terada S, Oshima E, Ikeda C, et al: Development and evaluation of a short version of the quality of life questionnaire for dementia. *Int Psychogeriatr* 27(1):103-110, 2015.
- 6) Terada S, Ishizu H, Fujisawa Y, et al: Development and evaluation of a health-related quality of life questionnaire for the elderly with dementia in Japan. *Int J Geriatr Psychiatry* 17(9):851-858, 2002.
- 7) 鈴木みずえ, 服部英幸, 福田耕嗣, 他 : 介護保険施設に入所する認知症高齢者のBPSDに及ぼす生活の質(QOL)の影響. *日本老年医学会雑誌* 54(3):392-402, 2017.
- 8) 佐藤輝美, 関口裕孝 : NPI-NHを用いた認知症患者のBPSDの推移と入院長期化の関係の検討. *日本認知症ケア学会誌* 15(4):820-825, 2017.
- 9) 山口晴保, 中島智子, 内田成香, 他 : 認知症疾患医療センター外来のBPSDの傾向 : NPIによる検討. *認知症ケア研究誌* 1:3-10, 2017.
- 10) 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED) 「BPSDの解決につなげる各種評価法と、BPSDの包括的予防・治療指針の開発～笑顔で穏やかな生活を支えるポジティブケア」研究班 (研究開発代表者 : 山口晴保) : BPSDの定義、その症状と発症要因. *認知症ケア研究誌* 2:1-16, 2018.

補足資料 調査票B

平成28年度 厚生労働省 老人保健事業推進費等補助金(老人保健健康増進等事業分)
「認知症グループホームにおけるグループホームケアの効果・評価に関する調査」

調査票B: 入居者の情報(初回調査用)

事業所ID		入居者ID	
		記入日	平成 年 月 日

※特に期日を明記している設問以外は、初回調査開始日から1週間後の現在の状況でお答えください。

質問・回答欄	
問 1	<p>インタビューについて</p> <p>1つ、選択してください。</p> <p>1つ、選択してください。</p> <p>1つ、選択してください。</p>
	<p>1)NPI-NHの検査は9月(もしくは初回)の検査の時と同じインタビューで検査しましたか。</p> <p><input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ</p> <p>2)NPI-NHの検査は9月(もしくは初回)の検査の時と同じインタビュー対象者で検査しましたか。</p> <p><input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ</p> <p>2)QOL-D短縮版は9月(もしくは初回)に記入した方が記入しましたか。</p> <p><input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ</p> <p>問1は無回答をお願いします。 (第2回調査以降にお答えいただく設問でございます。)</p>
問 2	<p>生年</p> <p>1つ、選択してください。</p> <p>記入してください。</p> <p>※初回のみ回答</p>
	<p><input type="checkbox"/> 1. 明治 <input type="checkbox"/> 2. 大正 <input type="checkbox"/> 3. 昭和</p> <p>年</p>
問 3	<p>性別</p> <p>1つ、選択してください。</p> <p>※初回のみ回答</p>
	<p><input type="checkbox"/> 1. 男性 <input type="checkbox"/> 2. 女性</p>
問 4	<p>入居年月日</p> <p>1つ、選択してください。</p> <p>※初回のみ回答</p>
	<p><input type="checkbox"/> 1. 平成 <input type="checkbox"/> 2. 昭和</p> <p>年 月 日</p>
問 5	<p>要支援、要介護度</p> <p>1つ、選択してください。</p> <p>※新規入居者については初回のみ回答</p> <p>※既存入居者については初回と2回目に回答</p>
	<p><input type="checkbox"/> 1. 要支援2 <input type="checkbox"/> 4. 要介護3</p> <p><input type="checkbox"/> 2. 要介護1 <input type="checkbox"/> 5. 要介護4</p> <p><input type="checkbox"/> 3. 要介護2 <input type="checkbox"/> 6. 要介護5</p>
問 6	<p>認知症高齢者の日常生活自立度</p> <p>1つ、選択してください。</p> <p>※貴事業所の計画作成担当者が評価してください</p>
	<p><input type="checkbox"/> 1. 自立度 I <input type="checkbox"/> 5. 自立度Ⅲb</p> <p><input type="checkbox"/> 2. 自立度Ⅱa <input type="checkbox"/> 6. 自立度Ⅳ</p> <p><input type="checkbox"/> 3. 自立度Ⅱb <input type="checkbox"/> 7. 自立度M</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 自立度Ⅲa</p>

問 7	<p>入居前の居場所(生活環境)</p> <p>1つ、選択してください。</p> <p>※初回のみ</p>	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none;"><input type="checkbox"/> 1. 在宅で同居者あり</td> <td style="width: 50%; border: none;"><input type="checkbox"/> 6. 介護療養型医療施設</td> </tr> <tr> <td style="border: none;"><input type="checkbox"/> 2. 在宅で一人暮らし(近隣に介護者あり)</td> <td style="border: none;"><input type="checkbox"/> 7. 介護老人保健施設</td> </tr> <tr> <td style="border: none;"><input type="checkbox"/> 3. 在宅で一人暮らし(近隣に介護者なし)</td> <td style="border: none;"><input type="checkbox"/> 8. 特別養護老人ホーム</td> </tr> <tr> <td style="border: none;"><input type="checkbox"/> 4. 病院・診療所【一般】(入院)</td> <td style="border: none;"><input type="checkbox"/> 9. その他</td> </tr> <tr> <td style="border: none;"><input type="checkbox"/> 5. 病院・診療所【精神】(入院)</td> <td></td> </tr> </table> <p>「9. その他」の場合、具体的に</p> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div>	<input type="checkbox"/> 1. 在宅で同居者あり	<input type="checkbox"/> 6. 介護療養型医療施設	<input type="checkbox"/> 2. 在宅で一人暮らし(近隣に介護者あり)	<input type="checkbox"/> 7. 介護老人保健施設	<input type="checkbox"/> 3. 在宅で一人暮らし(近隣に介護者なし)	<input type="checkbox"/> 8. 特別養護老人ホーム	<input type="checkbox"/> 4. 病院・診療所【一般】(入院)	<input type="checkbox"/> 9. その他	<input type="checkbox"/> 5. 病院・診療所【精神】(入院)											
<input type="checkbox"/> 1. 在宅で同居者あり	<input type="checkbox"/> 6. 介護療養型医療施設																					
<input type="checkbox"/> 2. 在宅で一人暮らし(近隣に介護者あり)	<input type="checkbox"/> 7. 介護老人保健施設																					
<input type="checkbox"/> 3. 在宅で一人暮らし(近隣に介護者なし)	<input type="checkbox"/> 8. 特別養護老人ホーム																					
<input type="checkbox"/> 4. 病院・診療所【一般】(入院)	<input type="checkbox"/> 9. その他																					
<input type="checkbox"/> 5. 病院・診療所【精神】(入院)																						
問 8	<p>入居理由</p> <p>1つ、選択してください。</p> <p>※初回のみ</p>	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none;"><input type="checkbox"/> 1. 入居者本人の希望</td> <td style="width: 50%; border: none;"><input type="checkbox"/> 4. 介護支援専門員からの勧め</td> </tr> <tr> <td style="border: none;"><input type="checkbox"/> 2. 入居者の家族らの勧め</td> <td style="border: none;"><input type="checkbox"/> 5. 介護職員からの勧め</td> </tr> <tr> <td style="border: none;"><input type="checkbox"/> 3. 医師からの勧め</td> <td style="border: none;"><input type="checkbox"/> 6. その他</td> </tr> </table> <p>「6. その他」の場合、具体的に</p> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div>	<input type="checkbox"/> 1. 入居者本人の希望	<input type="checkbox"/> 4. 介護支援専門員からの勧め	<input type="checkbox"/> 2. 入居者の家族らの勧め	<input type="checkbox"/> 5. 介護職員からの勧め	<input type="checkbox"/> 3. 医師からの勧め	<input type="checkbox"/> 6. その他														
<input type="checkbox"/> 1. 入居者本人の希望	<input type="checkbox"/> 4. 介護支援専門員からの勧め																					
<input type="checkbox"/> 2. 入居者の家族らの勧め	<input type="checkbox"/> 5. 介護職員からの勧め																					
<input type="checkbox"/> 3. 医師からの勧め	<input type="checkbox"/> 6. その他																					
問 9	<p>ADL</p> <p>1つ、選択してください。</p>	<p>1) 歩行</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 25%; border: none;"><input type="checkbox"/> 1. 自立</td> <td style="width: 25%; border: none;"><input type="checkbox"/> 2. 見守り</td> <td style="width: 25%; border: none;"><input type="checkbox"/> 3. 一部介助</td> <td style="width: 25%; border: none;"><input type="checkbox"/> 4. 全介助</td> </tr> </table> <p>2) 食事</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 25%; border: none;"><input type="checkbox"/> 1. 自立</td> <td style="width: 25%; border: none;"><input type="checkbox"/> 2. 見守り</td> <td style="width: 25%; border: none;"><input type="checkbox"/> 3. 一部介助</td> <td style="width: 25%; border: none;"><input type="checkbox"/> 4. 全介助</td> </tr> </table> <p>3) 排泄</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 25%; border: none;"><input type="checkbox"/> 1. 自立</td> <td style="width: 25%; border: none;"><input type="checkbox"/> 2. 見守り</td> <td style="width: 25%; border: none;"><input type="checkbox"/> 3. 一部介助</td> <td style="width: 25%; border: none;"><input type="checkbox"/> 4. 全介助</td> </tr> </table> <p>4) 入浴</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 25%; border: none;"><input type="checkbox"/> 1. 自立</td> <td style="width: 25%; border: none;"><input type="checkbox"/> 2. 見守り</td> <td style="width: 25%; border: none;"><input type="checkbox"/> 3. 一部介助</td> <td style="width: 25%; border: none;"><input type="checkbox"/> 4. 全介助</td> </tr> </table> <p>5) 着替え</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 25%; border: none;"><input type="checkbox"/> 1. 自立</td> <td style="width: 25%; border: none;"><input type="checkbox"/> 2. 見守り</td> <td style="width: 25%; border: none;"><input type="checkbox"/> 3. 一部介助</td> <td style="width: 25%; border: none;"><input type="checkbox"/> 4. 全介助</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 1. 自立	<input type="checkbox"/> 2. 見守り	<input type="checkbox"/> 3. 一部介助	<input type="checkbox"/> 4. 全介助	<input type="checkbox"/> 1. 自立	<input type="checkbox"/> 2. 見守り	<input type="checkbox"/> 3. 一部介助	<input type="checkbox"/> 4. 全介助	<input type="checkbox"/> 1. 自立	<input type="checkbox"/> 2. 見守り	<input type="checkbox"/> 3. 一部介助	<input type="checkbox"/> 4. 全介助	<input type="checkbox"/> 1. 自立	<input type="checkbox"/> 2. 見守り	<input type="checkbox"/> 3. 一部介助	<input type="checkbox"/> 4. 全介助	<input type="checkbox"/> 1. 自立	<input type="checkbox"/> 2. 見守り	<input type="checkbox"/> 3. 一部介助	<input type="checkbox"/> 4. 全介助
<input type="checkbox"/> 1. 自立	<input type="checkbox"/> 2. 見守り	<input type="checkbox"/> 3. 一部介助	<input type="checkbox"/> 4. 全介助																			
<input type="checkbox"/> 1. 自立	<input type="checkbox"/> 2. 見守り	<input type="checkbox"/> 3. 一部介助	<input type="checkbox"/> 4. 全介助																			
<input type="checkbox"/> 1. 自立	<input type="checkbox"/> 2. 見守り	<input type="checkbox"/> 3. 一部介助	<input type="checkbox"/> 4. 全介助																			
<input type="checkbox"/> 1. 自立	<input type="checkbox"/> 2. 見守り	<input type="checkbox"/> 3. 一部介助	<input type="checkbox"/> 4. 全介助																			
<input type="checkbox"/> 1. 自立	<input type="checkbox"/> 2. 見守り	<input type="checkbox"/> 3. 一部介助	<input type="checkbox"/> 4. 全介助																			
問10	<p>IADL</p> <p>1つ、選択してください。</p>	<p>1) 1日の計画を自分で立てることができますか。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 25%; border: none;"><input type="checkbox"/> 1. 問題なくできる</td> <td style="width: 25%; border: none;"><input type="checkbox"/> 2. だいたいできる</td> <td style="width: 25%; border: none;"><input type="checkbox"/> 3. あまりできない</td> <td style="width: 25%; border: none;"><input type="checkbox"/> 4. まったくできない</td> </tr> </table> <p>2) 季節や状況にあった服を自分で選ぶことができますか。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 25%; border: none;"><input type="checkbox"/> 1. 問題なくできる</td> <td style="width: 25%; border: none;"><input type="checkbox"/> 2. だいたいできる</td> <td style="width: 25%; border: none;"><input type="checkbox"/> 3. あまりできない</td> <td style="width: 25%; border: none;"><input type="checkbox"/> 4. まったくできない</td> </tr> </table> <p>3) 電話をかけることができますか。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 25%; border: none;"><input type="checkbox"/> 1. 問題なくできる</td> <td style="width: 25%; border: none;"><input type="checkbox"/> 2. だいたいできる</td> <td style="width: 25%; border: none;"><input type="checkbox"/> 3. あまりできない</td> <td style="width: 25%; border: none;"><input type="checkbox"/> 4. まったくできない</td> </tr> </table> <p>4) 自分で食事の準備はできますか。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 25%; border: none;"><input type="checkbox"/> 1. 問題なくできる</td> <td style="width: 25%; border: none;"><input type="checkbox"/> 2. だいたいできる</td> <td style="width: 25%; border: none;"><input type="checkbox"/> 3. あまりできない</td> <td style="width: 25%; border: none;"><input type="checkbox"/> 4. まったくできない</td> </tr> </table> <p>5) 自分で、薬を、決まった時間に、決まった分量を飲むことはできますか。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 25%; border: none;"><input type="checkbox"/> 1. 問題なくできる</td> <td style="width: 25%; border: none;"><input type="checkbox"/> 2. だいたいできる</td> <td style="width: 25%; border: none;"><input type="checkbox"/> 3. あまりできない</td> <td style="width: 25%; border: none;"><input type="checkbox"/> 4. まったくできない</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 1. 問題なくできる	<input type="checkbox"/> 2. だいたいできる	<input type="checkbox"/> 3. あまりできない	<input type="checkbox"/> 4. まったくできない	<input type="checkbox"/> 1. 問題なくできる	<input type="checkbox"/> 2. だいたいできる	<input type="checkbox"/> 3. あまりできない	<input type="checkbox"/> 4. まったくできない	<input type="checkbox"/> 1. 問題なくできる	<input type="checkbox"/> 2. だいたいできる	<input type="checkbox"/> 3. あまりできない	<input type="checkbox"/> 4. まったくできない	<input type="checkbox"/> 1. 問題なくできる	<input type="checkbox"/> 2. だいたいできる	<input type="checkbox"/> 3. あまりできない	<input type="checkbox"/> 4. まったくできない	<input type="checkbox"/> 1. 問題なくできる	<input type="checkbox"/> 2. だいたいできる	<input type="checkbox"/> 3. あまりできない	<input type="checkbox"/> 4. まったくできない
<input type="checkbox"/> 1. 問題なくできる	<input type="checkbox"/> 2. だいたいできる	<input type="checkbox"/> 3. あまりできない	<input type="checkbox"/> 4. まったくできない																			
<input type="checkbox"/> 1. 問題なくできる	<input type="checkbox"/> 2. だいたいできる	<input type="checkbox"/> 3. あまりできない	<input type="checkbox"/> 4. まったくできない																			
<input type="checkbox"/> 1. 問題なくできる	<input type="checkbox"/> 2. だいたいできる	<input type="checkbox"/> 3. あまりできない	<input type="checkbox"/> 4. まったくできない																			
<input type="checkbox"/> 1. 問題なくできる	<input type="checkbox"/> 2. だいたいできる	<input type="checkbox"/> 3. あまりできない	<input type="checkbox"/> 4. まったくできない																			
<input type="checkbox"/> 1. 問題なくできる	<input type="checkbox"/> 2. だいたいできる	<input type="checkbox"/> 3. あまりできない	<input type="checkbox"/> 4. まったくできない																			

問11	<p>入居者へのケアとして、行っている取り組みを、すべて選択してください。</p>	<p><input type="checkbox"/> 1. 入居者が笑顔になるような、楽しい雰囲気でのケア</p> <p><input type="checkbox"/> 2. 入居者が安心するようなコミュニケーション</p> <p><input type="checkbox"/> 3. 入居者の意欲が高まるようなほめ合い</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 入居者の生きがいになるような役割や日課の設定</p> <p><input type="checkbox"/> 5. 入居者が自己肯定感を高めるような、失敗体験を防ぐ支援</p> <p><input type="checkbox"/> 6. 身だしなみやおしゃれの支援</p> <p><input type="checkbox"/> 7. 食事を楽しむことのできる支援</p> <p><input type="checkbox"/> 8. 一緒に食事の準備をする支援</p> <p><input type="checkbox"/> 9. 栄養摂取や水分確保の支援</p> <p><input type="checkbox"/> 10. 口腔内の清潔保持</p> <p><input type="checkbox"/> 11. 排泄の自立支援</p> <p><input type="checkbox"/> 12. 入浴を楽しむことができる支援</p> <p><input type="checkbox"/> 13. 安眠や休息の支援</p> <p><input type="checkbox"/> 14. 服薬の支援</p> <p><input type="checkbox"/> 15. 日常的な外出支援</p> <p><input type="checkbox"/> 16. お金の所持や使うことの支援</p> <p><input type="checkbox"/> 17. 電話や手紙の支援</p>
問12	<p>認知症の診断について</p> <p>1つ、選択してください。</p> <p>※初回のみ</p>	<p>a) 診断名</p> <p>※診断が複数回ある場合は、直近の診断結果をご記入ください。</p> <p><input type="checkbox"/> 1. アルツハイマー型認知症</p> <p><input type="checkbox"/> 2. 脳血管性認知症</p> <p><input type="checkbox"/> 3. レビー小体型認知症</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 前頭側頭型認知症</p> <p><input type="checkbox"/> 5. 混合型認知症</p> <p><input type="checkbox"/> 6. その他</p> <p>「6. その他」の場合、具体的に</p> <p><input type="text"/></p> <p>b) 診断時期</p> <p><input type="checkbox"/> 1. 平成</p> <p><input type="checkbox"/> 2. 昭和</p> <p><input type="text"/> 年</p>
問13	<p>現在受けている治療について認知症以外の治療(内科、整形外科などでの治療)を受けていますか？</p> <p>1つ、選択してください。</p>	<p><input type="checkbox"/> 1. はい</p> <p><input type="checkbox"/> 2. いいえ</p>
<p>問13で1.を選択した場合お答えください。</p> <p>2.を選択した場合は問14にお進みください。</p>		<p>問13-1</p> <p>現在、治療中の疾病にあてはまるものを、すべて選択してください。</p> <p><input type="checkbox"/> 1. 外傷(転倒・骨折等)</p> <p><input type="checkbox"/> 2. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)</p> <p><input type="checkbox"/> 3. 脳卒中(脳出血、脳梗塞等)</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 心臓病</p> <p><input type="checkbox"/> 5. その他</p>

<p>問14</p>	<p>現在、服用中の認知症治療薬とその1日の用量について伺います。該当するものをすべて選択してください。1日に複数回服用している場合は、1日の合計服用量を記載ください。 ※選択肢は「商品名(薬品名)」で表記しています。</p>	<p><input type="checkbox"/> 1. アリセプト(ドネペジル塩酸塩) 用量: <input type="text"/> mg</p> <p><input type="checkbox"/> 2. レミニール(ガラタミン) 用量: <input type="text"/> mg</p> <p><input type="checkbox"/> 3. リバスタッチパッチ・イクセロンパッチ(リバスタグミン) 用量: <input type="text"/> mg</p> <p><input type="checkbox"/> 4. メマリー(メマンチン) 用量: <input type="text"/> mg</p> <p><input type="checkbox"/> 5. 服用はしていない</p>
<p>問15</p>	<p>現在、服用中の向精神薬について該当するものをすべて選択してください。 ※選択肢の例は「商品名(薬品名)」で表記しています。</p>	<p><input type="checkbox"/> 1. 抗うつ薬 例・デジレル、レスリン(トラゾドン) ・ジェイゾフト(セルトラリン) ・ルボックス、デプロメール(フルボキサミン) ・パキシル(パロキセチン) ・リフレックス(ミルタザピン)等</p> <p><input type="checkbox"/> 2. 抗不安薬・睡眠薬 例・レンドルミン(フロチゾラム) ・マイスリー(ゾルピデム)、アモバン(ゾピクロン) ・ルネスタ(エスゾピクロン)、 ・ロヒプノール、サイレース(フルニトラゼパム) ・ペンザリン、ネルボン(ニトラゼパム) ・デバス(エチゾラム)、・リーゼ(クロチアゼパム) ・ワイバックス(ロラゼパム)等</p> <p><input type="checkbox"/> 3. 抗精神病薬 例・セロクエル(クエチアピン)、・ルーラン(ペロスピロン) ・リスパダール(リスペリドン)、・セレネース(ハロペリドール) ・グラマリール(チアピリド)、・ドグマチール(スルピリド) ・エビリファイ(アリピプラゾール) ・コントミン・ウインタミン(クロロプロマジン)等</p> <p><input type="checkbox"/> 4. その他の向精神薬</p> <p><input type="checkbox"/> 5. 服用はしていない</p>
<p>問16</p>	<p>実施しているケアで、右記の選択肢にあてはまるものをすべて選択してください。</p>	<p><input type="checkbox"/> 1. じょくそうの処理</p> <p><input type="checkbox"/> 2. 経管栄養(胃ろう、腸ろう)</p> <p><input type="checkbox"/> 3. 「1.」と「2.」いずれも実施していない。</p>
<p>問17</p>	<p>入院の発生について伺います。下記の期間中に入院されることはありましたか。 ※初回調査開始日から1週間の間で</p>	<p><input type="checkbox"/> 1. あった。</p> <p><input type="checkbox"/> 2. ない。</p>
<p>問17で1. を選択した場合お答えください。 2. を選択した場合は終了してください。</p>		
<p>問17-1 入院した原因と期間についてお答え願います。 ※3回以上入院された場合はお手数ですが本ページを印刷してご使用ください。</p>	<p>1回目の入院</p> <p>(ア) 入院した主な原因となった疾病 (1つ選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 1. BPSD <input type="checkbox"/> 2. 外傷(転倒・骨折等) <input type="checkbox"/> 3. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 脳卒中(脳出血、脳梗塞等) <input type="checkbox"/> 4. 心臓病 <input type="checkbox"/> 5. その他</p> <p>(イ) 入院した期間</p> <p>平成29年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日 ~ 平成29年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日</p> <hr/> <p>2回目の入院</p> <p>(ア) 入院した主な原因となった疾病 (1つ選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 1. BPSD <input type="checkbox"/> 2. 外傷(転倒・骨折等) <input type="checkbox"/> 3. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 脳卒中(脳出血、脳梗塞等) <input type="checkbox"/> 4. 心臓病 <input type="checkbox"/> 5. その他</p> <p>(イ) 入院した期間</p> <p>平成29年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日 ~ 平成29年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日</p>	

ご協力、ありがとうございました。